事業番号	64

平成27年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	こまき応援寄附金推進事業							担当部	地域活性化営業部	
	会計区分	一般会計		事業類型	実施計画事業				担当課	商工振興課	
	事業期間	平成25年度	～	平成31年度以降					担当係	新産業創出係	
	総合計画分野別計画 主目的	7 行政経営	32 財政運営	1 歳入確保の取組みを強化します							
	副目的	18-1	18-2						実施計画対象	○	
	予算区分	款	7	項	1	目	2	大	4	中	1
	根拠法令・個別計画	こまき応援寄附金推進事業実施要綱									
	目的（対象をどの様な状態にするのか）	小牧市の知名度を上げ特産品の魅力発信を効果的に進めるとともに小牧市の財源の確保を図る。									
	内容（手段）	・ふるさと納税寄附者に対してお礼の品を配布することにより小牧市の知名度や特産品の魅力発信を効果的に進めるとともに、本市の財源確保を図り、ひいては、産業の活性化につなげる。 実施内容 ・一万円以上寄附をいただいた方に対して1万円につき1品お礼の品を送付する。 ・寄附金の納入については市が発行する納付書で納入するほかインターネットからのクレジットカードでの支払方法も可能である。 ・お礼の品のラインナップについては名古屋コーチンを中心に15種類の中から選択することができる。 平成26年度事業実施に当たり改善点 ・5月15日よりお礼の品の提供方法を1万円に付き一品と改めお礼の品提供の上限を廃止した。 ・8月1日よりお礼の品の追加・見直しを行い提供可能なお礼の品が15品となった。 ・平成26年度寄附内容 人数　3，319人（うち市内189人） 金額　84，392，000円 【平成26年度直接経費の内訳】 特別旅費（1千円）、消耗品費（15,823千円）、印刷製本費（263千円）、通信運搬費（11千円）、広告料（324千円）、手数料（362千円）、有料道路・駐車場使用料（3千円）、クレジット決裁システム使用料（13千円） 【平成27年度直接経費の内訳】 特別旅費（100千円）、消耗品費（16,500千円）、印刷製本費（450千円）、通信運搬費（452千円）、広告料（810千円）、手数料（420千円）、クレジット決裁システム使用料（13千円）、業務用備品購入費（15千円）									
	受益者負担	無									

				単位	H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27予算額
コスト	費用	直接経費		千円		7,806	16,800	18,760
		正職員	従事者数	人		1.30	1.10	1.30
			人件費	千円	0	6,838	5,786	6,838
		その他職員	従事者数	人		0.00	0.00	0.00
			人件費	千円		0	0	0
		費用合計		千円	0	14,644	22,586	25,598
		対前年比		%		#DIV/0!	154.2	113.3
	財源	一般財源		千円	0	14,644	22,586	25,598
		国・県支出金		千円		0	0	0
		その他財源		千円		0	0	0

事業番号	64

業績	活動指標名	単位		H24	H25	H26	H27
	寄附者数	人	目標		600	1,500	4,000
			実績		2,070	3,319	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名	単位		H24	H25	H26	H27
	基金積立額	千円	目標		12,000	17,000	40,000
			実績		22,980	84,392	
			目標				
			実績				

事業の自己評価			
平成26年度の実施結果	事業の達成状況	3，319人から84，392千円の寄附をいただき、多くのお礼の品を全国に発送することができたことから小牧市及び小牧市特産品のPRに繋がった。	
	事業実施における課題	新規寄附者の獲得及び継続的に寄附がいただけるよう魅力のあるお礼の品を提供するとともにこまき応援寄附金制度のPR方法について検討が必要である。また、寄附者数や提供するお礼の品が増えることで事務が煩雑となることから、迅速かつ正確に事務を行えるようシステム化が必要である。	
	事業を縮小・廃止したときの影響	小牧市及び小牧市特産品のPR並びに財源確保の機会減少に繋がる。	
平成27年度の改善内容	27年度における事業の改善・見直し内容（新規追加事項、廃止・削減事項等）	・平成27年6月1日よりお礼の品の追加・見直しを行い、「こまきプレミアム商品券（贈答用）」等を追加して選択できるお礼の品を23品とした。 ・寄附の活用先メニューの見直しや基金の使い方について検討が必要である。	
平成28年度の事業の方向性	方向性の判定	拡　大	対象の拡大や手段の充実等により、事業のボリュームを拡大すべきもの
	判定理由	今後も小牧市の産業振興のため多くの寄附をいただく必要があり、魅力あるお礼の品を提供する必要がある。	
	28年度以降の改善案	お礼の品のラインナップの充実と基金の有効な活用方法について検討が必要である。	

二次評価	方向性の判定	判　定　理　由
	拡　大	一次評価のとおり。